紀水記

慶應元年

七月
八月
九月
十月
十一月
十二月

廿六

和書門
類
一五七八一號
一七九函
四架
四冊

內閣文庫
和書
類
一五七八一號
四冊
一五一函
一一架

| 內閣文庫 | | |
| --- | --- | --- |
| 番號 | 和 | 15781 |
| 冊數 | 4（ | 4） |
| 函號 | 151 | 118 |

綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

慶應元年 辰
七月朔日
一 蒙
御門跡様例之通
来翰四札
縮緬 五百
金 馬代
綿 百把
金 馬代
同
蝋燭 五百挺
銀 馬代

永井信濃守
渋谷同正氏
青山大膳亮
本多亀之助

日本政府圖書
淺草文庫

一 猪木民部 是ハ罷越候ニ 御有

七月二日 来

一 二丸ニ而為 御

七月三日

七月四日

一　阿部市正儀松平甲斐守同役相勤候様ニ　仰付

久松家ニ而御役御免のち度伊豆殿不快ニ付跡のくじ一枚被下し

七月五日

七月六日

一 酒（坂ヵ）井雅楽頭一昨日是より御暇今日登城

一 七夕之御祝儀尾州殿より進上物有之
是者七日御祝儀例之通

七月七日

一 七夕御礼例之通

今夕於御座之間御礼有之候

七月八日

一 松平甲斐守四脈ニ而色、東本白書

七月九日

大坂ゟ番四張

單雉子十

四羽雉子七
羽織

四羽雉子六
羽織

豆州四張

四雉子一羽
羽織六

四雉子一羽
羽織三

溝口出雲守

石川山城守

吉川中務

小笠原幸松

本多内膳

化
化甲寅一　之便松平肥後守九口　云々

七月十日

一　駒井右京組之跡ニ日ノ但三浦八左衛門　仰付

七月十一日

七月十二日

一 長松殿徳松殿より[illegible]青一[illegible]
[illegible]被為上

一 酒井讃岐守殿日光より今日御帰登城

一 大久保主殿為 上使明日日光え被遣

一 畠山下総守花房源之助今日田[illegible]

紀伊守事於[illegible] 土佐[illegible]伊勢守[illegible]

七月十三日

七月十四日

七月十五日

一 上野ニ而施餓鬼有之ニ付御名代酒井雅楽頭

一 増上寺同断ニ付御名代堀田肥後守

国立公文書館
National Archives of Japan

七月十六日

一 二尾白鳥　成瀬隼人正　上覧

一 中鱵三百四百一昨日日光ゟ海老又一寿番望

七月十七日

一 御鷹之鳥　御名代　酒井雅楽頭

一 四月晦日先番日光江交代ニ出立

一 大久保三月日光より帰着

札 四ツ時ゟ地震去年程鳴候へ共さしたる事無御座候

七月十八日

永勤御徳

以上

西尾丹後守

織田大和守

芦野大之丞

一松平助之丞小性ニ而九蔵大坂四月朔日代口勝

神尾備前守

本多出雲守

一七月十九日

日光御参詣相済候ニ付御礼御太刀御馬代献上

而々

銀百枚
御羽織三

同断

同断

板倉豊後守

同 内膳助

同 長門

同　勘解由　銀五拾枚　時服三　羽織一

吉武二郎右衛門　銀卅枚　時服二　羽織一

稲坂三郎右衛門　同断

萩右馬助　時服四　羽織一

上使　小姓組番頭
宮生駿河　金三枚

同　丹後

丹後子
同　右馬　金弐枚

紀伊殿家老
上座石丸右衛門ニ而饗応有之

七月大日

一　上野　名代保科肥後守
今日上野御成ニ付名代ニ而御霊屋え参詣御本坊ニ而
伊豆守も参候

七月廿一日

一 梶金平日光 御廟江文書役 御付[illegible]

七月廿二日

一 二丸江立寄 成小納戸 上被仰付候由

一 秋元摂津守　七月廿三日
日光之白ニ而寄之橋本民部与交代

一 台徳院殿廿七回忌増上寺ニ而九月四日法事奉
掛り役今日ニ　仰付候

阿部豊後守
安藤右京
松平出雲守
曽根源左衛門
村越次左衛門

七月廿四日

一 播磨守御名代　酒井雅楽頭

一 紀伊殿同忌明ニ付出仕有之ニ付　上使被遣之

一 有馬中務大輔母一昨日病死ニ付出仕遠慮之旨

一 上使被遣之

一 於二之丸二丸之内松屋敷并口播磨守殿下ヘ

右之屋敷へ御移被成候由　御本

一 上野口黒屋口重箱入来ニ付　是又門跡毘沙門

門跡手ニ付上様思召　松平伊豆守ニ而振舞有之

又紀州旗本衆ヘ被遣候由

紀伊殿ヘ上使山口備前守ヲ以葉茶被遣之

同月廿六日
阿部豊後守養子市之正事、六千石被下之、今度豊後守養子ニ付、御目見仕、当年十九歳、去年十一月豊後守死去之節、六千石之内八月朔日出去ニ而仰付之處、上意ニ而市之正家督之儀、被仰出、其故ハ故伊勢守嫡子ハ幼稚ニ付、豊後守家督并遺領被下、以来先規市之正ニ六千石宛行、豊後守遺領一万石之内、上総小八ヶ先規市之正ニ被下、豊後守死去ニ付、六千石ハ伊勢守ニ遣之、御礼申上

七月廿六日
一 阿部市正新知六千石同伊勢守与力騎十二騎
石ニ而市正ニ被下

一 松平周防守ニ口脇ニ上使 松平和泉守 限子ニ而被 羅子為表之
拝領
一 上総守 家来川村某之儀ニ付 相果候ニ付 御
目付組下村忠左衛門検使ニ被遣

七月廿六日

一 表 御目見之僧

松平因幡守

同帷子十

相馬式部

一 駿河御番頭御暇

金廿枚
同帷子三
銀

大久保右京

一 銀廿枚

柴田新左衛

一 御前目見

同帷子十五
金馬代

浅井又市郎

同三
銀馬代

同 多部

帷子五
銀馬代

助之子
松平源五左衛門

同断

三郎兵衛子
小幡四郎兵衛

同断

筑後守子
柴田太吉

一 中山備前守継目之礼

此
右者常日都ニ而中山ニ而為ニ而立徳ニ而

七月廿七日

一 毛利和泉守領分ニ乞テ人ニ中ニ渡シ唐船漂着 但ニ艘

人数七十人程乗合候處ニ船之内ニ

一 徳松殿同実四ツ之時分上ニ而死去

七月廿八日

一 晝 出御口切如例

一 青木新五郎日光ゟ一昨日歸着

但松平[illegible]ゟ被遣候為御礼、[illegible]被遣候

七月廿九日

一 伊庭播磨守様之息女、日光ゟ御着座之由

代り名代元彈正忠[illegible]

[illegible]

七月晦日

一

八月朔日

一 表出御御禮之通例

八月二日

一 千代姫君様今朝卯刻ニ而平産　男子御誕生ニ付

紀伊殿并水戸殿　紀伊宰相殿并水戸中将殿ニ者右御三家

登　城

一 大照院殿并万松庵ニ中所医者今日社　宝樹院様被

御附

千代姫君ヘ　上使松平和泉守

右御三家方も　御

阿部豊後守

阿部ニ上使ニ遣

八月三日

一 西重口様七番方へ

八月四日

一 松平和泉守去ル晦日より服之忌之処、免之如以候旨
松平紀伊守を以上使ニ而　仰出以紀伊守登　城
千代姫君ニ而御座候ニ付、初而被為入候二付、寄合衆等相詰参候

八月五日

八月六日

八月七日

一 口書出済

参勤の御礼

錦三把
金馬代
吉田伊豆守

般若書
秋元越中守

初而御目見之面々

時服十
馬代金
右之子
永井大膳

銀馬代
又七子
溝口修理

綿六ツ
金馬代
織部正子
仙石主税

銀馬代
伊勢守子
稲葉小[illegible]之助

綿五
金馬代
能登守子
亀井新十郎

銀馬代
新十郎子
八木十三郎

帷子三ツ
銀馬代
市正子
片桐助作

同断
主水子
板倉左京

銀馬代
内記子
横山左近

同断
美濃守子
水尾隠八

同断
内記子
溝口左近

同断
与三郎子
上坂半之助

八月八日

東方丸七郎ゟ敦賀ニ　上使　松平和泉守　壹岐守
手代服紗、紙十束被備前御前ゟ土方ゟ服紗、鹿毛二十日服紗唐之候
西ゟ紙五十枚　河内河内紙之ニ元紙十枚ツヽ　大橋七郎兵衛御勝手三紙
三十枚　諸御用人共之奉行大服紙十枚ツヽ　紙七ゟ小野御番ゟ奉行
小笠原新兵衛　御服大服御勝手七ツ　楢村十郎兵衛ゟ尾三兵衛山下伊兵衛
御勝手ゟ山田次郎兵衛　深津浅右衛門浅尾紙十枚ツヽ　大番衆ゟ河内
長谷川勝之紙十枚ツヽ　浅右衛門御勝三紙三十枚　御中之取扱之村
三十枚ツヽ　さこおこさうさつゝ　かうこいさうし十枚ツヽ　惣女中へ三百枚

八月九日

一　落合小平次事中風ニ付同性源右衛門駿河江被遣
且醫師久志本左京発足

八月十日

一 京極下総守国元ニ而死去之由昨日申来

八月十一日

一 阿部豊後守去ル四日 病気ニ而悪変及候由

一 夫より今日迄登城無之候ニ而 上使大久保
甚四郎被差遣候
一 落合小平次死去之由ニ而申来

両所
小笠原右近将監殿名代 御城ニ而年寄衆之 御同道之 御城へ年寄衆へ 小笠原 下
右京大夫 是又名代 老中共 久世大和守 牧野 備後守 ニ 御座

八月十二日

八月十三日

八月十四日

座敷拝領ニ而

三枝縫殿守屋

筋違橋丹羽式部跡

赤坂御門外

高木彦右衛門之丁

右同人

飯沼勘之丞

本多将監

青山孫右衛門

稲垣三之丞

市岡九右衛門

西ノ窪寺院
同所
麻布
小石敷芳茗合
同所
渡辺右衛門屋敷裏
小石敷芳
西應寺前

松平甚三郎
大井新右衛門
伊庭右馬允
阿部八之丞
岩瀬半之丞
能勢市十郎
酒井与部
本多半之丞

大井甚之助屋敷裏
本多播磨守元やしき
松岡半右衛門裏やしき
元鷹師町
牧野前方法泉
同所
牧野佐渡守元やしき
石川勘助元やしき

長松柳ノ口不息心に鑓

大岐鐘庵
松平織部之丞
稲葉十郎右衛門
揖斐与右衛門
高山十右衛門
斎藤吉助
梶川庄右衛門

徳松様ゟ　富田

水府
尾州様ハ芝御浜手ニ而

紀州様ハ小石川白山御屋舗ニ而御覧有之

八月十五日

一　結城弘経寺入院ニ付御目見

八月十六日

一 紅葉山御名代保科肥後守

八月十七日

一 公方様内々御参詣被為 成候間見廻可有之由 （右御内々御参詣之節…上野之…）

一 於増上寺当九月 大御台様御法事有之旨 （来明九月十□日常憲院様二十七回御忌御法事被仰付）

仰付候者

山門 小笠原信濃守
本多対馬守

宮門 松平佐渡守
京極□□守

本堂 浅野内匠頭
喜多□伊賀守

圓明□ 丹羽左京亮
吉田伊豆守

庫裏 西尾丹後守
松平□監

□□ 岩城但馬守
織田左□

惣門 阿部豊後守 右何れも少々…

寛保二戌 御手前 御座之間 東御座敷之間ニ被為成

八月十八日

同月廿七日 上野御参詣 御成 輪王寺へ御立寄

西丸若年寄 松平伊賀守 上使

八月十九日

一 駿河守 落合小平次跡役 二之丸 大番頭

御持三百表之加増

一 戸田帯刀 御納戸 三番 四番 二付 之旨

添

八月廿日

一 此ノ度四年三度日光山ゟ御登 城

一 上野御名代酒井雅楽頭

一 増上寺遷化ニ付松平出雲守并若年寄衆江被遣

火之番衆中ゟ依被 御免

八月廿一日

八月廿二日

一 松平伊豆守評定所江出座有之候事

千代姫君様御七夜

八月廿三日

一 松平外記二条ニ去十七日ゟ煩居候大切之由申来

一 依之同役中ゟ以脈ニ而可申旨書遣之

八月廿四日

八月廿六日

一 表 出御

部屋住之面々御礼 御目見

羅紗単十 金馬代

羅紗単三 銀馬代

銀馬代

雅楽頭子 酒井小五郎

与平織部子 小出三右衛門

主殿子 本多大膳

同断 丹波守子 久留島権三郎

同断 権之助子 西尾山三郎

同断 主膳右衛門子 曽我権之助

同断 美作守子 織田左助

同断 求八子 菅谷八郎兵衛

同断 丹後守子 渡辺半蔵

同断 半右衛門子 浅野半八

同断 彦五郎子 戸田三之丞

同断
出雲守子 有馬主水同

四 帷子染三
銀馬代
出羽守弟 金森大膳

銀馬代
出羽守子 滝川長三郎

大坂御番頭 御目見

四 帷子単
銀馬代
加番 保貞越中守

四 紗綾三
大御番頭 松平丹後守

四 織物箇一
同 植村帯刀

御暇〻〻而〻

四 帷子単
羽織 壱
板倉主水

同断
小堀大膳

土屋民部

西尾孫六

四 黄金弐枚
帷子二
駿府御目付
丹羽平右衛門

八月廿六日

一 大沢右京亮 日光ゟ名代弾正代りとして被遣候 廿六日

出立之由

一 公方様来十七日御門ニ而御出ゟ御成候ニ付御社参之儀ニ上

野ゟ為上使明十七日酒井日向守被参

八月廿七日

一 上野ゟ上使酒井日向守被参

御樽壱荷
御肴二種　日光御門跡ゟ

銀五十枚
御帷子十　毘沙門堂御門跡ゟ

銀十枚　さいきやうゐんゟ

銀十枚　さうこんゐんゟ

右今日被遣之

八月廿八日

一 松平丹記二条ニ而去廿三日病死之由今日申来候
御手洗四郎衛門二条ゟ為 御使番明日発足之
初而 御目見之事

付右衛門子
榊原重 源之丞

左吉丈子　猪子牧馬

平左衛子　吉高孫吉郎

次八郎子　多門平蔵

甚次郎子　駒木根太兵衛

八右丈子　羽黒八郎

因獄子　渡辺宇右衛門

市左衛子　多賀長三郎

太兵衛子　井戸次十郎

平十郎子　小林平左衛門

九兵衛子　長谷川助九郎

小左衛門子　三田茂左衛門

市平子　狩野京平三郎

孫兵衛子　丸田甚三郎

頼左衛門子　松平清右衛門

三右衛門子　高嶋弥之助

広三郎子　石尾伊左衛門

九

此ノ天気ニ而者兼而之ハ明日出帆相成候とも存候

又太郎子
氷谷平七郎

八月廿九日

一 右井玄庫并手右衛門熱海湯治御暇ニ而今日出立

一 安藤市郎左衛門石河三郎右衛門大坂より一昨日帰参今日登
城

八月晦日

一 長松様・徳松様ゟ松平大隅守上使ニ而雉一番ツヽ
被進之

一 井伊掃部頭ゟ大久保加賀守上使ニ而青からし

一 今日大坂御番被仰付 石出大坂ニ而候ニ付老中迄之

一 紀伊殿へ上使之様伺之上御暇被下之

一 此度御暇被下候ニ付御礼ニ而

九月朔日

一 出御 御礼有

一 小石川傳通院 増上寺住職ニ付 御礼

一 京極主膳奏者勤之 御目見之後太刀馬代

献上

一 中山勘右衛門宗助九歳 南部馬買之含四疋

金三枚 黒紬二拾領

一 大脇差三腰 四張ニ下張廿枚 袷三拾領

九月二日

九月三日

一 ちりけニ灸百上ケ候ニ付不致出仕

一 御書継目御礼ニ付登城

記 御用之儀ニ付明日出仕候様申来ル

九月四日

記 上様大納言様御機嫌ニ付而

九月五日

一 長松侍従徳松侍従大千代生害有願ニ付今日御礼
　御登　城

一 日光門跡御門跡御暇ニ付登　城

一 松平越中守今日御暇

一 神保二郎三郎病死ニ付　御目見

一 佐橋甚三郎荒井ゟ参着　御目見

附記　何茂松平七年……御修行一同……

九月六日

一 紀伊殿ゟ安浪九之丞為御使ニ而屏風御的弓御的

一 弓之上

四ツ矢屏風之内

一 所藤弓 弐張 但之上にもし有

一 ぬり黒塗弓 弐張

一 ゆかけ 弐揃

一 四ツ矢九挿

一 うきす下革 三ツ

四ツ的弓 六張 内

四張ハ 塗弓

弐張ハ 三ケ所竹弓白木

一 四ツ的矢 拾弐筋

一 矢代 弐筋

一 四ツゆかけ 弐揃

一 弓かくし 六ツ

一 こま 六ツ

以上

右藤様へ之上ル

九月七日

一 東新門跡昨晩参向ニ付 上使戸田土佐守殿

遣

此
拝領万疋

九月八日

一 稲木民部少輔 在所より参着之 城

一 松平伊豆守 松平和泉守 於

御前四百之内勝二つ了 相載

一　九月九日

重陽之嘉儀之例

来勤　御目見

加賀絹五拾疋
銀五十枚

松平弾正守

綿百把
銀馬代

松平伊賀守

大栗壱箱

奥平美作守

今日忌服

御小袖三
御羽織壱ツ

神保三郎兵衛

九月十日

一 松平淡路守江御暇　上使下曽根三十郎ニ而被遣之小袖
三拾被下

一 日光表十七日四ツ時被仰渡候ニ付松平伊賀守江被遣之十三人
立之由

一 昨日ゟ
片桐中務登城四ツ時関之長鎌級ニてとしていて小升
刀さやとしらへ居一束首へ申付候由

九月十一日

一 表上御

一 御暇ニ付而

松平法(?)丞　御小袖十　羽織一

永井右近大夫　御小袖二　羽織一

京極右近

主膳子
新庄越前守　御小袖七　羽織一

内藤伊勢守　御小袖三　羽織一

出雲守弟
溝口内記

同

湯治ニ付　四月之

堀太門

一 酒井摂津守日光之御暇ニ付御小袖拝領

綸子廿巻
馬代金一枚　献上

東新門跡

九月廿七日ニ者参府
是ハ御諸日光之一乗院也
其身ハ九月 松平備前守同前 御暇

九月十二日

一 國目付神谷助左衛門堀三郎右衛門東海道ゟ今日着府

今日銀十枚ツゝ拝領

九月十三日

一 日光御名代吉良若狭守 御暇被下之 十七日ニ 御名代也

一 酒井讃岐守日光参詣之

今日義明訖書入来ニ有之

九月十四日

一 牢人共可致狼藉与結徒党候者搦捕之

松平但馬守浪人 坂分之内

鈴木庄右衛門

荻沼文十郎

三宅平六

林戸右衛門

是ハ安庄伝元水野羽田浪人 是ハ坂分之内

大波与左衛門

下人 三人

右搦捕之ニ付而賞中山ニ有之

石谷将監組同心七人 飛尾伊兵衛与力同心三人

右之者捕之中九兵衛月刑ア左衛門ニ申付為見張之

訴人仕候

一 九月十五日

一 阿部豊後守内山本主殿両國ニ而盗ニ捕候由申候

不知

一 土岐伯耆守殿人相書出ル

紀
伯耆守方ゟ依頼

一 九月十六日

一 東新門跡ゟ松平和泉守為 上使銀百枚御拝領

遠山四郎ト

一 大手同朋末次与左衛門昨夜場ニ而切通ニ而自殺
腹ヲ切右之人ハ未相果右奉行監召捕様子相尋

九月十七日

一 高木源右衛門日光御用ニ付登城

九月十八日

一 大黒屋長次郎四脹(?)時より四羽織一筋金五枚相願

一 今度坂ゟ吉右衛門并魚屋武兵衛相渡ス

化
ニ京　門見え

九月十九日

一 昨十八日夜松平和泉守殿ゟ酒井讃岐守殿松平伊豆守殿

御親類衆渡当事令松平三左衛門松平伊予守殿相招申

様子儀有之由松平大和

一 御親類中渡当家来山本ゟ親類ゟ野呂(?)能登守家来石橋

一　御右之者人石谷将監方ゟ移候ニ付、久世大和守牧野
佐渡守并大目付之面々吟味之儀有之

九月廿日
一　今日猪子右京亮并今度中国勤番之大名
御目見仰付

一 九月廿五日
酒井讃岐守・永井信濃守首尾源左衛門明日是之
右之
以上相成候浪人
戸次庄右衛門
林戸右衛門
右小栗又一郎家来
土岐与左衛門
元金井半兵衛家来 由井九右衛門
三宅平六
藤江又十郎
石橋源右衛門
同断
右六人磔 但同日品川ニテ
与左衛門子
熊谷三郎兵衛仁 松平市正持之
同 加賀爪甚十郎
有馬三助 十二
同
松子代 六
同大学小姓 源右衛門子
清十郎 十六
正明記 於武州磔此同人母ハ五十七日自害
熊谷三郎兵衛 五町ヨリ組中引連相議
土岐一学 妹加賀ノ元右衛門ニ嫁 十一才
加賀爪甚十郎 与左衛門子 十六才
石橋久次郎 源右衛門子 十二才
石橋久蔵 源右衛門子 安
正田熊谷仙
右之人同日於浅草刎首
小沢左衛門中間相三郎 与市郎与江相返之処 不忠之志有 同日麻布ニテ成敗之切腹者
岡田与兵衛 松平但馬守様御人 浪人ノ子
同 玄庫 松平但馬守家人 三百石 五十五
同 惣兵衛 松平出羽守家人 二百石 五十五
藤蔵 又右衛門 金森長門守家人 五十五 又十郎父
同 竹十郎 十四才

清傳寺又十郎并金兵衛同寺領分諍論之節之
右之族取相違不致出入分別之内を
於之領之入口攘
　　　　　　　　　　　　　　　　　同子
華之留守居家来壱人
　　　　　　　　　　　　　　　　　町田主庫
主膳方
　　　　　　　　　　　　　　　　　同甚左衛門
日
星之死刑之捕ニ之
又十郎
　　　　　　　　　　　　　　　　　弟吉人
紀
係る之事支配所之九一東一ヒ

一
　　　　　　　　　　　　　　　　　九月廿二日
一　壹出入
条郷之口宿
　　銀一百枚
　　綿三百把
　　　　　　　　　　　　　　　　　水野兼北守

金馬代　　相馬式部

熊皮泥障壱懸
銀馬代　　牧野播磨守

一 御賜二而

四ツ小袖 五
四ツ羽織 一　　丹羽式部少輔

四ツ小袖 三
四ツ羽織 一　　竹中左京

一 吉良若狭守一両日巳前日光より帰府

九月廿三日

一 昨日浅野図書上方より帰着也

城

九月廿四日

一 従ゝ古御名代、酒井雅楽頭

一 去十八日路元今日　被埋しかも来　慶應元年

ち成ん

九月廿五日

国目付衆

御手之面々

肥後守

長門守

若狭守

一 今日二十七日御用番出雲守

多賀左近

朝倉仁左衛門

石川源左衛門

石丸石見

下曽根三十郎

森山伊兵衛

一 羅之間罷有之

九月廿六日

四番組

十太夫 和布刈 宗右衛門 大 小源次 小 六兵衛 太 喜九郎 笛 又三郎

十郎左衛門 頼政 喜三郎 大 小源兵衛 小 又左衛門 笛 忠次郎

保生 檜垣 権七郎 大 九郎左衛門 小 源三郎 笛 庄兵衛

金春 舟弁慶 権右衛門 大 助之丞 小 源六 笛 猪吉 太 猪兵衛

金剛 小鍛冶 喜太郎 大 樋口 小 十左衛門 笛 又右衛門 太 庄五郎

狂言

八幡前 権兵衛 菜つ不 源太郎

一 何之太夫 権之丞

九月廿七日

九月廿八日

一 日光御門跡ゟ 上使戸田土佐守以菓子被下

一 今日年寄役免之 御出

一 織田左馬家来毛利刑部左馬今度悪党訴人仕ニ付白銀三枚 白銀五百疋被下

紀 酒井雅楽頭 松平伊豆守 松平和泉守 阿部豊後守 御目見

九月廿九日

口膳物役

小笠原七九門

小林金右衛門

松平新九衛

多野勘之丞

九毛太郎之丞

天野清之丞

加賀弥之丞

森志河之丞

四茶迎元

河門伝七郎

小林吉太夫

伴野久之丞

鈴木森之丞

中根九郎左衛門

右拾三人新番并書院番組ニ

仰付

聞明記

九月十三日城半[illegible]刑部ニ付テ云者松平伊豆守宅ニ集リ[illegible]別ニ[illegible]
夜[illegible]五十[illegible]ニ浪人企[illegible]来[illegible]早[illegible]九日[illegible]風[illegible]
上[illegible]二三ケ所ニ放火[illegible]騒[illegible]令[illegible]定テ[illegible]
[illegible]騒[illegible]意[illegible]雖[illegible]度ニ火[illegible]見[illegible]
訴[illegible]企[illegible]伊豆守[illegible]最[illegible]一角[illegible]
[illegible]故[illegible]同意[illegible]追[illegible]
[illegible]捕[illegible]留[illegible]
被[illegible]
夜[illegible]捕[illegible]城[illegible]評議[illegible]自[illegible]上[illegible]被[illegible]上聞[illegible]
七[illegible]御出[illegible]
[illegible]
人[illegible]山門[illegible]
豊[illegible]故三人[illegible]
[illegible]三人[illegible]三人[illegible]
連[illegible]

[illegible]
九[illegible]平田[illegible]

三人[illegible]宅[illegible]
月[illegible]
設[illegible]押也

今夜風甚烈、信上ゟ出火……人々信蔵……十六夜宮……

捕手……前段……

……人ト云……

一手ニ切……此内又……

……

……

十四日……

……

九月十六日未明……

……

[illegible]

今夜風甚ク吹テ陪上ニ書示シ路人ヲ結城ニテ[illegible]国ヘ二十夜宮別所ニ而 北庵 自分
与力同心ヲ具シ川原ノ所二十日余三宅平六ヲ送ル与力九人ニ宿ニ示シ押込平六ハ上下三人ニ
捕平六ハ前後アリ夫ニ命シ故ニ倍ヘ見ハ色悪キ手ヲ負ス与力ハ要夫々列ホ
[illegible]
九月廿二日[illegible]

一 昨日源次郎来ル右之事人ニ書付ヲ以テ広ケ候事ノ知人ヘ見セ申出
一 御陣所三浦ノ松山石衛門所ニテ若狭南別所座候人故所存ニ而石衛門
月十九日於拝領所伊右衛門書付[illegible]所存候人列也 又其後別木林三宅茂平石橋ヲ
山本三郎ハ書付ヲ以テ来ル 別木宿書状 別木云 入ヲ交候書之外ハ石橋之事ニ左
可乱候之任力故ニ力ニ寄上力任ル[illegible] 石橋日[illegible] 若狭ニ[illegible]其常ニ晴軍候
故別木三宅家国ヲ伐来ヲ[illegible]其男ニ[illegible] 縦ハ一下ニ陣部[illegible]
[illegible]人数ヲ[illegible] 何程ニ人数[illegible] 可攻ト[illegible]人ニ其[illegible]
[illegible] 高ヲ[illegible] 世ニ可乱[illegible] 下同[illegible]
[illegible] 世ハ[illegible] 軍[illegible]
別木文[illegible]疑ハ[illegible] 縦ハ吾勢一二百モ[illegible]
百ホ[illegible]宿[illegible] 又合所ヲ刻 一二口[illegible] 一ツ[illegible]放[illegible]
行候[illegible]人 [illegible]疑[illegible] 自分ト愛宕[illegible]
[illegible]記[illegible] 別木宗ニ[illegible] 入[illegible]
[illegible] 下部ニ[illegible]
[illegible]愛宕下[illegible] 侍[illegible] 相[illegible]
[illegible]知[illegible] 不[illegible]
[illegible] 各[illegible]
[illegible] 正[illegible]
[illegible]林口[illegible]
[illegible]
八正[illegible] 棟梁[illegible]

十八並ニハ兎モ角モ判形ハ反シテ連判中ノ假名ニテモ見届ケ上ニテノ事、今日ハ用半有
ニテ出仕致シ居候得ハ被見シテ加判可在ト存候ハヽ十本三度迄來ル故留守ト新[illegible]
致モ封ヲ不仕候ヤ伊豆守ハ同列ヘ評定ヲ候處先夕[illegible]
次養[illegible]大夫ヘ書ヲ記シ候ハ書状ヲ相戻シ候故急キ候ニテ今回ニテハ無之[illegible]
已御[illegible]手ヤハ評定ノ故致方有之[illegible]
已[illegible]儀[illegible]今回ハヤ又ニハアラス[illegible]
堂[illegible]無[illegible]被達[illegible]
[illegible]面[illegible]事押隱ハ同[illegible]甚上[illegible]
尋[illegible]甚過[illegible]唯[illegible]山本[illegible]伊豆守[illegible]
不[illegible]同類[illegible]
[illegible]中故玄蕃頭[illegible]
[illegible]一大事[illegible]
[illegible]
[illegible]伊豆守[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]人數[illegible]雖有[illegible]勤人方便[illegible]
[illegible]

慶應元年丑
十月朔日
一 紀 四時御例 尾 四時出之
一 永井信濃守 日光御登 城
一 同苗玄蕃頭 大坂御登 城
一 町同人[illegible]棒物献上
一 紀 今晩[illegible]四風[illegible]
一 尾 四谷代 酒井雅楽頭 出御[illegible]

尾
一　主役坊衆

井伊掃部頭　保科肥後守
酒井雅楽頭　吉良若狭守
松平右京大夫　蒔田大学頭
井伊靭負佐　松平刑部大輔
松平播磨守　土川刑部大輔
細川内膳正　戸田土佐守
松平伊豆守　松平和泉守

阿部豊後守　牧野右馬允
奥平美作守　丹羽左京大夫
小笠原美作守　上杉宮内
松平遠江守　松平宮内
酒井摂津守　戸田采女正
小笠原信濃守　本多織部守
本庄大膳正　井伊兵集助
此分四十三人

御側衆　御小姓衆　中根大隅守
御目付　諸役人　諸番頭
諸奉行　諸番衆当番
医者衆
（紀）此夜若君初節句ニ付　御門跡へ出仕之

一　十月二日
一　（尾）昨晩より常憲院御霊前ニ為　上
一　（記）今日も御使御膳為　戸田山城守御老中
来

十一月三日

一 御留守居克四郎兵衛罷上候、 右ハ濱田蔵助兼帯

中聞之

尾張殿之儀入念ニ記有之

紀 天気好出来、廿日ニ浴ケ 相伺候事

十月四日

一 御使者以女安藤帯刀殿被仰

一 水野監物殿ヨリ二十三回忌 今日於総山門

一　於日光御納経之　御用以下無滞被為済候ニ付
上使銀百枚・小袖五、毘沙門堂銀五十枚・小袖三被下之、但惣
持参御用ニ而御納会之事

十月六日

十月六日

記
御用紀より無之

十月七日

十月八日

四枝弓役　永見新右衛門跡
柘植四郎兵衛

四弓役　柘植四郎左衛門跡
大久保甚之助

四鉄炮役　服部半右衛門病氣故役御免跡
松平新平

右五人　御禮

十月九日

十月十日

御代
惣奏者別木庄左衛門若党某致欠落候ニ付御尋

町田玄庫 同喜三郎 同長吉 同於三之丞 [illegible] 右之者 同伴 [illegible]

十月十一日

一 表 出御 御目見之面々

退出被

相済

松平薩摩守

錦百把
金馬代
四腰当二
金馬代
紫縮十枚
紗綾
紗綾
箱肴
紗綾
太刀馬
箱肴

参勤
内藤帯刀
大坂城
内藤豊前守
駿河城
大関右馬
同
松平豊前守
同
板倉甚太郎
湯治城
永井兵庫
駿河帰
加々爪甲斐守
駿河帰組頭
石谷主殿

御羽織三そト
同
御暇
御目見
時服三
同
太刀目録
同

御暇
同組中
牧野内膳
駿河ゟ御暇
三宅大膳
大番与子
谷勘十郎
同与子
建部織部
堅物子
友掛采女
大番与子
三宅惣九郎

日

土方三ノ子
能勢五十郎

十月十三日

記 酒井讃岐守殿子息石見守殿屋

十月十三日

一 酒井讃岐守子息根源丸為日光被参之儀

一 鈴木友助小倉忠右衛門大坂ゟ交代ニ而差遣候

御序

十月十四日

一 日光御仏殿御手本来 上使門奈紀伊守ゟ八丈嶋青

右ニ而仕候

記

上使様御代御名之御鎮座之

十月十五日
一 堀田上野助日光之御暇
一 紀 尾紀両卿

十月十六日
尾紀両卿今日成新田ニ而

十月十七日

一 紅葉山御代参保科肥後守

十月十八日

一 夜四時ゟ御殿之部屋方ニ而出切ニ付、夫ゟ錠口迄出番所々番人大勢ニ而化物之事ニ付鳴戸立引廻し候所為何事ニハ字ニ計仕候、二三人程搦捕申候

一 晝見ゟ之御酒被下之御座候

一 □摩□場所数ヶ所不法ニ付[illegible]
場所ニ重新規家作ヲ建させ申間敷
事
但
月番之[illegible]
手前[illegible]申付候[illegible]
右[illegible]人[illegible]有之[illegible]御[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]人[illegible]

十月十九日

但
[illegible]御普請奉行[illegible]

十月廿日

一 上野御名代 保科肥後守

紀 月番忠清ニ而勤

十月廿一日

十月廿二日

一 日光御宮御修復ニ付小栗新九郎・安藤三郎四郎・石尾七兵衛被召出右為日光被登　候

一 三好能登守代りとして小出越中守日光江被遣候

右御用

一 馬場三郎左衛門長崎ニ而大病之所来月西国帰

四脈被下之

十月廿三日

一 松平伊豆守入部　御自筆之紙拝領

一 みの守徳甫入部四脈時服拝領

十月廿四日

一 酒井讃岐守目見 御用ニ付登 城云々

一 阿部豊後守ゟ太刀献伝奏衆へ上使ニ而菓子
被下叙爵之御見え候

一 堀田上野守目見被登 城

一 牧野甲斐守こゝろ方不召湯治願之

十月廿六日

一 松平甲斐守在所より帰城　御鷹之雁献上

一 山下弥兵衛領分ニ而掛り　御鷹之鶴・青献上

一 御暇ニ付而

時服五
羽織　堀　丹後守

時服四
羽織　内藤　摂津守

時服五
羽織　大関　右京亮

時服二
銀百枚　松本　千勝

よりかまひなし　松平　壹岐守

十月廿六日

一 裏書判之事

今般諸家ゟ届之節并月乱暴之者有之候
ニ付御城内四番ニ而子細ニ承り候ハゞ文面を押
候儀ニ付なるへく届書ニ有之候得ハ其届書ニ添
届ニ而一通り其上尚書面之通ニて届書所中ニ而申付

可有之ハ寺社方ハ寺社奉行町方ハ町奉行在方ハ御代官可被仰付
事ニ付御代官被仰候儀ハ前々之届書を以て申上候ハ、右之通り新規ニ
候ハゞ右之ものハ帳面ニ付貫之内ニハ諸事ハ其人
ニも得与ニ拙者之義ニ御座候筋ニ而死骸之由之
事之積ニ而候以上

辰十月十六日（廿九）

十月廿七日

一 阿部市正殿自豊後守領地ゟ御書・御鷹之鶴今日御持参上ル

一 松平飛騨守一昨夜卒去ニ付晩 上使阿部豊後守

十二月廿八日

一 松平飛騨守在勤之御礼申上ル

銀三百枚

時服廿巻

羅紗十間

一 時服被下之御礼

元火之番小普請中条山城守組

大井小十郎

北野伊豫守家来

竹田源吾

津軽土佐守家来

山口五郎兵衛

水野伊勢守家来

平沢三郎兵衛

日

大堀三九郎

大井三郎兵衛家来

今井新五郎

松倉長門守家来

吉田勘兵衛

井尾内膳組与力

福井角兵衛

紙屋

仁兵衛

畳屋

九兵衛

右昨日之御礼

家来 元御徒

石井次兵衛

山村七兵衛

久貝因幡守与力

萩原権兵衛

右今日之御礼

右ハ去ル八月之夜火事之節家来人馬出シ御褒美被下候

切紙を以遣之

十月廿九日

一 時服弐 三百石補 小普請入

小十人 渡辺藤助組 小笠原七右衛門

西丸 御書院番 小川新之丞

西丸 御目付 伊沢源之丞

元 西丸小納戸 当時小普請 岩間勘之丞

大番 松平庄九郎

奥進物番 羽生多九郎

大番 本目隼四郎

寄合 戸沢周平

小普請 出野勘九郎

小普請 平沢三郎兵衛

町人 三百石補 ……

上野 ……

……

四郎兵衛

寄合 栗田仁右衛門

長松 平岡勘右衛門

御小人目付 新八郎

浅井多九郎

杉村七左衛門

傳兵衛

小右衛門

湯や　菱之助

生島吉次郎事　角右衛門

四小人七人

湯や　九右衛門

〃　庄右衛門

十月晦日

松平筑前守

松平右京大夫

松平但馬守

保科肥後守

松平出羽守

伊達遠江守

右御使番　上使ニ而鷹之鳥

寂しかりし

十二月朔日　夜中地震

一　四ッ時御例

一　保科民部少輔罷参志香ニ　御拝

一　伊丹順斎罷出御鷹之鳥配之免被遣若狭守ニ出

一　御拝

一　明日より四花畑家ニ而六ツ的弓始

二日　益松文四郎
　　　伊兵右馬允

三日　大久保喜右衛門
　　　林平九二傳

四日　安藤信四郎太郎
　　　吉田長左衛門

七日　西四弓庵

八日　横田次郎左衛門
　　　伴内半三郎

九日　朝比奈大之
　　　上原勘右衛門

十日　多氏勘中

十一日　渡辺三弥書

十二日　久世三四郎

十三日　坂部三十郎

但
右之面々当番之節先年之通相勤候由申上之

十二月二日

夜前之雪気ニ付、紀伊殿ゟ御伺ニ献上物有常ゟ少有之、

千代姫君様ゟ御使無之、

十二月三日

一 弓仮習ニ付　御弓之面々

大井新右衛門組
足軽組頭　　　　筧　勘七郎

四組大将
東條組之内
　　　　　　　　溝口　半左衛門

四組大将
同留守居組頭
小十人組
　　　　　　　　細井　佐次右衛門

四組大将
持
鑓子
　　　　　　　　白井　太郎八

大番組頭
奥右筆
　　　　　　　　新見　勘右衛門

御弓按方組頭
按方
御納戸
　　　　　　　　酒井　八左衛門

十二月四日

紀
天下殿御逝去有之年ニ而御逝去之旨何茂可存之旨達有之
天下殿内々風乱之如有之由

十二月五日

一 永井信濃守　御前ニ而摩ニ乍ニ而有頂

十二月六日

一 長門被出候ニ付今日口脹いたし

一 松平右馬頭口脹 四小袖二 寄□ 拝領

一 三林口脹 銀三枚 小袖三ツ □の□

紀 此□方□様二郎自ハ□□し

十二月七日

一 酒井讃岐守より口切之茶壺一個献上

一　日光御番所出来ニ付　右同人ゟ　越前守殿

指遣候ニ而之代金相渡

一　右同断ニ付

御番衆七人

銀百枚ツヽ
時服四ツヽ

安藤三郎四郎
小笠新八
渡辺与右衛門
石尾七兵衛
本多出雲

金十枚ツヽ
時服二ツヽ

御供元ゟ相勤候ニ付而

千俵　伊豆守子　松平甲斐守

千俵　和泉守子　石川美作守

千俵　若狭守子　松平主殿頭

千俵　美濃守子　稲葉丹波守

千俵　信濃守子　永井伊賀守

元五百俵
五百俵加増　内膳正子　牧野周防守

元三百俵
七百俵加増　右京亮子　大久保出羽守

五百俵 新知　久次見又助

六百俵 新知　武藤吉之助

十二月八日

大井小半助子三人　羽生太左衛門 子有之

右三人牢屋ニ而成敗

吉田勘左衛門　今井又之丞

山田宗左衛門　竹内孫右衛門

生害

井上勘兵衛　天王寺や 九左衛門

紙屋

仁左衛門

右七人浅草ニ而成敗

十二月九日

十一月十日

一 宝樹院殿昨夜より少々御不豫

西丸御 御右筆組頭 仰付

御右筆組頭 仰付

大御番組頭 仰付

銀二十枚 時服三

小日向 廣東八左衛門

池谷助九郎

西日向 鈴木喜左衛門

四貝坂 荒井岩右衛門

雑司ヶ谷家来 酒井内匠

堀甚右衛門

一

銀三拾枚 小袖三

銀二十枚 時服二

銀二十枚 時服二

林野惣九郎

江見多左衛門

小泉伝九郎

沼田武右衛門

下見伊右衛門

吉田与九郎

大野主税

大橋久右衛門

記
宝樹院様より拝領物如左

銀廿枚
小袖二ツ　成

向井将監
田元織部

十二月十二日
一　四ツ過御成弓番有之
一　宝樹院殿より四ツ時過寺的御茶上ル

四ツ組
十三歳 弓八幡　権右衛門　小源太　六　又三郎　吉
十五歳 喜豊　宇兵衛　總左衛門　大隅　左衛門　七
同人 千寿　同人　九郎兵衛　庄左衛門
仙鶴持　権七　小源太　浮舟　源助　長兵衛

十三濤
祝言　　幾之濤　六右衛門　次郎濤　太郎七　庄次郎
狂言
あかゞり　權七　十之丞　仁蔵
柿山伏　權七

化
宝樹院殿御忌日ニ付御精進、依之大名衆方ニも参上無之、御三家方ハ参上

十一月十二日
一 徳松様今日御月代ニ付御登 城被成、御座之
間ニ而御目見、吉岡一文字腰之物拵付ニ而御拝領
一 徳松様より御馬代附根六之丞献上
一 徳松様より御老中へ御小袖被下
一 徳松様ゟ御老中 御城迄ニ参上

一 牧野美濃守　時服四
一 伊奈清九郎　〃三
一 宮賀源七郎　〃
一 植村三郎八　〃
一 本庄宮内　〃
一 押田三郎兵衛　〃
一 柘植平兵衛　〃
一 松平与右衛門　〃

一 蒔田孫衣　〃
一 山本七郎右衛門　〃
一 戸田七内　〃
銀十枚 策庵
〃七枚 圓齋
〃五枚 寿見
一 今日松平伊豆守評定所江罷越
一 小田切土佐守明日明後日之内日光之人ニ 廿三

徳松様之月利ニ記

~~米形様御用~~

三方上ミ巻之段ニ付き

（右月記）徳松様之月利記也　御附騰上ハ金子御差出之札茂之　御月之整申

右是ハ文字之勝手御金子出役所

右ハ役筋御目付御番所　宝順悟七事御儀も之　松枝平之亮

牧田縫殿之戸田七内同坂倉氏名　極村方八柳田之段杉平右衛門

山形七郎左衛門時渡之二　第藤宗政寄元郎出役之之

十一月十三日

一　昨日徳松様御祝儀ニ付井伊掃部頭登

一　御祝儀之為来り申上ル之趣仰出之可不申

一　中納言様より　上使松平伊豆守寺田侍中同道

三　相済

高　金弐百疋　三枚宛頂　　月　　山岡十五郎

　　　　　　　　　　　　　月　　大久保甚四郎

元三百疋　御酒肴　　　　　　　　高崎七郎兵衛

　　　　　　　　　　　　　月　　三上山本九蔵

　　　　　　　　　　　　　月　　万年弥九郎

日

日　松平織部正殿

日　井沢摂津守殿

堀川庄九郎殿

元禄夏　丞　楢原七九郎殿

日　い　成瀬甚右衛門殿

十一月十四日

一 本阿弥妙十ちん本阿弥金一枚古四十六被仰付

以来年々ゟく

十二月廿六日

一 [illegible]御代替御祝儀ニ付
　糸綿 目録ニ而
　羅紗十間
　馬代
　　高力摂津守

一 綸子二十巻
　金馬代
　　松平丹後守
　羅紗十五
　銀馬代
　　大村権之助
　[illegible]二
　銀馬代
　　岡部主税

一 小倉忠右衛門 右支配 大坂御目代ニ[illegible]

　金子被下之

一 銀廿枚ツヽ 被下之 其外頭ヘ下々ヘ[illegible]

十一月十六日

一 細井佐次右衛門持組相番ニ罷入候ニ付　御供

一 井伊掃部頭登　城

一 紀伊宰相殿口座敷之儀黒書院番所へ入

一 渡辺源右衛門儀入念候ニ付内伺申上候処松下[illegible]老

中へ申上ル

十一月十七日

一 紀伊殿ゟ御名代保科肥後守

一 御黒書院ニ而 出御 碁御覧 上覧

本因坊
先番 算知 勝

門入
定先 宗雲 勝

周碩
三子 算哲

将棊

一 宗閑 勝
宗桂
三番之内弐番 香車手落
一番 對局

宗古 角ゟ落
正圓 勝

一 宝樹院殿御忌日ニ付御霊屋江御成之節御参詣

十一月十八日

一 寶樹院殿御忌日ニ付御成被遊候

一 小出越中守ニ代リ板倉市正目見之白衣也

一 高力左近ト日勤ト

化
寶樹院様御気色ニ付御延引之旨也

十二月十九日

一 四條ニ而一万五千石之旨被仰付候哉日光茶志ゟ庵
三橋上

一 寶樹院殿御法事ニ御成也

十一月廿六日

一 上野 御名代酒井雅楽頭

一 御目見了簾越口東之方ニ之寺書院ニ而小袖云

一 下乗

一 松平中務少日之役

一 老中上野参詣

一 矢部彦九郎日光より被参

一 酒井左衛門之間ニ大き成鳥罷出殿中御成候

一 中奥之戸田摂津守之役

十一月廿一日
一 徳松様ゟ唐皮之鞍書ニ而金入
一 松平主膳之腹
一 （真イ）間野庄九郎子共松平伊豆守宅ニ而今度
庄九郎儀先ニ様子不宜為死損ニ付御
護ニ庄九郎子共三人伊豆守方ニ書迹仕三年
内本懐をも不申ニ付候ニ而支配ニ然ニ
退申也多度迄ニ而沙汰ハ不知
此
長順院殿御弟之也ニ付益カ出入

十一月廿二日

一 千代姫様右京大夫殿召登　城

紀

尾張様右京大夫殿千代姫様御宅被遊　御祝儀被仰出

上さまより

十一月廿三日

一 紀伊宰相殿ゟ山口縫殿助小石中将殿ゟ松平右近

為　上使ニ付　御鷹之鶴[illegible]頂

一 上使ニ而紀伊宰相殿へ登　城中将殿ゟ以御使

者

御使者

一 田中主殿頭組[illegible]木之面同組ニ而[illegible]　御

紀
京都知恩院ニ付寛永寺江御達し被成候

一 寶樹院殿御弥り候事
十一月廿四日

一 増上寺 御黒書院ニ而
御目見之節帽子寺ニ而分一統様ニ而
小石川 傳通院ニ　小弓 大巌寺　仰付
鎌倉 光明寺ニ　岩付 浄國寺
飯沼 弘経寺ニ　瓜連 常福寺 運海
小金 東漸寺ニ　同 吟長
白崎 大念寺ニ　同 倫誌
小弓 大巌寺ニ　同 暦乙

呂宋 浄味与 同 百卅

一 去松前ハ昨晩酒井紀伊守杉浦内蔵允為御使被遣
右内膳ニ公儀振舞中戒ニ振舞也

十一月廿六日

一 今日評定所ニ而阿部豊後守安藤右京亮井上筑後守罷越

一 今度時要より訴人致候、酒井雅楽頭於評定所黄金十枚被下之

一 去年中四年寄事訴人致候而志摩久世大和守

一 牧野佐渡守支配より候ニ　御用

十二月廿六日

十二月廿七日

一 植松様川勝出席之上 登城中之職代被成候ニ

御振舞

一 御三家方ニ御茶程ニ進む也御酌被遊候

此上段ハ寛保元年ニ出ス

十二月廿八日

一 御礼例

一 井伊掃部頭 於御暇之上ニ而御願

一 阿部伊豫守 小出越中守 日光より被帰

糸錦之御礼

綿百把 秋田安房守

花色之三枚 黒川与左衛

右之御礼

附〻之
金馬代

月

附〻三
金馬代

修理子
小出勘解由

大膳子
青山亀之助

備後守子
水野三九郎

十一月廿九日

十二月晦日

一 小出中務殿名代使ニ而先日之通 御広蓋
上使ニ而口様御登 城ニ而ゟ御為 御基本着届
御中口何ゟ御達登 城ゟ御附

十二月朔日

一 口様如例

一 三浦壱岐守土井気之助元服付御祝ニ
御年

一 阿部市正五郎ゟ使者登 城

一 参勤御礼

帆高紙拾束宛 諏訪安芸守

矢百筋 小濱民部

菖蒲革十枚 五味備前守

箆壱 阿部市正

十二月二日

一 宝樹院殿今日八ッ時過卒去

一 今日乱心者平川口より御城坂迄参り候処番所捕之町奉行へ引渡申候

一 松平伊豆守評定所へ罷越

一 宗樹院殿御年忌ニ付御三家御登 城之儀
御規式之外御目見ニ無之候ニ付御参詣も御断
紀伊殿家老より御用番ニ而申達候処松平右京大夫殿
宗樹院殿御年忌ニ付御参詣可被成候得共御用番之
儀ニ付御参詣無之由

十二月二日
一 御三家方御登 城
一 宗樹院殿御葬式掛り水野佐渡守 松平出雲守
酒井紀伊守 村越七兵衛 本多新五左衛門
被仰付之

十二月四日

一 日光御門跡登　城

一 黒田甲斐守但馬於増上寺法事四十九日

御礼

四ツ時御同宅　御

十二月六日

一 宗樹院様今日夜ニ入上野護國院ゟ御霊
遷式ハ晦日之由

一 同日御書院番中嶋隠岐守組衆今晩ゟ八日迄相詰候
様可被仰候

一 八日御路松平伊豆守上野江参詣候處御成御延中
相識

一 大御番頭組衆十六人上野江今晩ゟ上野江
相詰候様御書付

一

十二月六日

一 今日宗樹院殿於上野御葬送相済候（火葬）

一 松平伊賀守上使ニ而被越

一 井伊掃部頭登 城

一 増山弾正今日より八日迄上野江相詰

十二月七日

一 諸大名御機嫌伺登 城

一 四ツ時ゟ落 四ツ前ニ今朝より罷出候所

右四ツ時過ニ相済

比
此夜寄合候ニ付延命院ニ而

十二月八日

一 上野御法事今日昼ニ而相済

一 酒井讃岐守同雅楽頭松平和泉守上使ニ而
被為登　御城ゟ　阿部豊後守様ニ　御成
上使之御請

一 紀伊殿四郎進落候ニ付御普請上ノ御殿
寛永元年三月ニ為松平伊豆守ニ而被

一 法大名御機嫌伺登　城

一 御三家方御機嫌伺ニ登　城御三家ニ而被相伺

御譜代大名衆ハ二日目三日目ニ一度宛登

御禮之使伊豆守ニ而候

紀
右之者共御使相勤候ニ付而

宝樹院殿江御香奠被備候ニ付而

十二月九日

紀
和歌山ニ而宝樹院殿御法事ニ付香奠被備候ニ付而

十二月十日

一 松平和泉守江戸中彼是御礼進上としてまゐる 是者
御上ゟ之事も御意御用ニ付御常の如くニて
御上ゟ之御使被成候ニ付御常の如く而上申候
候 江戸ゟ来候

一 本多伊豫守大坂御番ゟ在所ニ立寄一晩泊
此度 条御用ニ付相国寺中ニ逗留被成候
御同道 城

十一月十一日

一 三浦志摩守元服登　城

一 井伊掃部頭登　城、其外御譜代大名登　城

十二月十二日

一 中納言殿御登　城、御老中江御逢被遊

一 伊奈半十郎代官所今川ニ而半十郎代
百姓之者屋敷之耕作申付候所小壺振出
内ニ金百七拾壹匁有之ニ付今日 所城ニ而今
子上ル 口兄中方ヘ之説ニ而候ニ付[illegible]
此段[illegible]
一 [illegible]

十二月十三日
一 猪飼半左衛門明日是之ニ而当切[illegible]
一 阿部[illegible]病気ニ而今日[illegible]
[illegible]遠
一 今日[illegible]掛ル

十二月十四日

一 内蔵頭同日使者家老以御用之由松平和泉守

口上書高清吉三取之

一 酒井讃岐守ヨリ使者差出ニ付今日登

城云々

十二月十六日

一 長松様徳雲院殿登　城　日きやう人ニ願

一 大井兄之助殿出　城

十二月十七日

一 四三家より歳暮之呈服ニ指上程年始賀

被遊候

一 水尾美濃守日光之ㇳ板倉市正代として被遣

十二月十七日

一 酒井讃岐守日光御用ニ発足　御暇ニて

一 小堀新右衛門一昨日死去

十二月十八日

一 御書院番ニ而只今迄廿八人ニ而御加増有之候処

四十四人ニ而切米三百俵ツヽ被下之

一 駿河番ニ而勤候者共ニ者御加増被下之廿人

一 御徒五十人凡廿七俵七十四人ニ百俵拾人扶持被下

一 大御番ニ而只今迄ニ而弐百俵ツヽ被下候者七人

長門守 金森常力

次九郎 能勢小左衛門

刑部少輔 宗左馬助

小姓組 次九郎 松平権蔵

左兵衛子 伊奈彦右衛門

左三郎子 織田小十郎

新十郎弟 能勢惣右衛門

下総守子 本多大蔵

右京亮 安藤九郎右衛門

是ハ千俵

右九人ハ小姓組 御蔵米三百俵宛

式部子
一色丈之

福井左近

平九郎子
津田平四郎

玄蕃子
松平与右衛門

左京子
渡辺三九郎

勘七子
伏見権八郎

主馬子
内藤太九郎

杢之子
小出伊之丞

右八人伊沢隼人組但何茂三百俵ツヽ

三右衛門子
牛田九郎之丞

伊賀子
木下長之丞

四郎兵衛弟
右助子
河内十右衛門

金右衛門子
平岩与右衛門

勘九郎子
内藤清八郎

右五人三枝縫殿組但何茂三百俵ツヽ

周防家来
松平内記

添右衛門子
高山吉右衛門

同小姓組
与右衛門子
倉林半左衛門

孫右衛門子
大久保七之助

同御納戸組
吉右衛門子
渋谷一郎右衛門

右四人荒川山城守組御蔵米三百俵宛

次右衛門子
河野権之助

右中根日向守組三百俵

右牧野佐渡守組三百俵

内膳子
渡辺市之丞

作右衛門子
日向伝三郎

淡路守
服部六右衛門

和泉守
多賀又右衛門

之信子
京極右衛門

吉兵衛子
川井三郎兵衛

内膳守
松平右衛門佐

甚三郎子
伏屋伝右衛門

右九人本多土佐守組何茂三百俵ツヽ

駒井三四郎
牧七五郎
伊勢六右衛門（小普請 伊十郎子）
杉浦源五兵衛（忠兵衛子）
大久保源次郎（権右衛門子）
三宅十三郎（源兵衛子）
西尾太左衛門（小左衛門子）

右九人渡辺丹後守組何茂三百俵

小林権之助（権大夫子）
柘植忠大夫（三之丞子）
寺坂与右衛門（左馬助子）
鵜殿七郎右衛門（彦三郎弟）
稲葉彦十郎（十九之丞子）
大沢猪之衛（主計弟）
小谷新右衛門（伊織弟）

民部弟
立花宗右衛門

長三郎弟
松平彦之丞

彦九郎子
松平次郎右衛門

書院番
主水子
荒木左京

右八人内藤出雲守組三百俵宛

忠兵衛子
田中孫十郎

市之丞弟
久留嶋小八

彦九郎子
久松孫一郎

助六弟
小坂瀬之丞

久右衛門子
濱田一郎右衛門

惣之丞子
堀内杢之助

小野三左衛門

右七人松平左馬允組三百俵宛

伴九郎子
内藤伴之丞

内匠子
土岐求記

右弐人石谷但馬守組三百俵宛

隠岐守子
佐々平右衛門

松平右京子
岩下二左衛門

右三人久世大和守組三百俵ツヽ

主殿子
酒井伝左衛門

安藝
三右衛門子
奥田忠左衛門

右三人安藤伊賀守組三百俵ツヽ

猪之助子
吉田宇右衛門

三宅忠左衛門

右三人松平左近組三百俵ツヽ

左兵衛子
金森傳左衛門

右[illegible]組三百俵ツヽ

[illegible]子
須田三郎左衛門

右酒井[illegible]守組三百俵

平兵衛子
篠田新九郎

右[illegible]長門守組三百俵

右之大番小十人各々[illegible]

駿河番四番衆 是ハ本郷丹後守組

三百十石 石山七左衛門

五百三十石 中根大隅守組ゟ参候 川井源作

三百俵 加藤吾助

弐百俵 本多新十郎

弐百五拾俵 駿井（駒）小七

弐百俵 芝山太郎左衛門

三百八石 山下又助

弐百五十俵 松波三十郎

弐百俵 安藤四郎兵衛

四百俵 服部八郎右衛門

三百俵 田村伝右衛門

三百俵 渡辺又右衛門

三百俵 山田九兵衛

弐百俵 小十人組頭ゟ参候 黒川彦之助

弐百俵 御小納戸ゟ四郎兵衛跡参候 下山平右衛門

三百五十石　吉田多五郎

弐百俵　堀本権次郎（次右衛門）

三百八十五石　岡部惣六

三百俵　石川茂兵衛

弐百石　松平六右衛門（後松浦伊府右衛門親）

三百俵　西尾彦四郎

三百石弐斗　内田喜兵衛（後谷幸右衛門兄）

弐百俵　朝比奈次兵衛

弐百俵　大久保源次郎（イ四）

弐百俵　三崎小左衛門

五百五十石　大久保金兵衛

六百五石　川崎源右衛門（イ彦九郎）

弐百俵　水野彦九郎

三百俵　本多彦兵衛

弐百拾石　中條武兵衛

四百拾石四斗　吉田次郎左衛門

弐百七十三石
廣沢五左衛門

千四百八石
元書院番 與力
沖津三十郎

三百俵
元代官
小林彦五郎

弐百俵
元代官
長谷川安九郎

六百五石
河並源右衛門

十二月十九日

上使横地太左衛門茶器拝領之外被下銀百枚

紀伊殿ゟ御使者、
御目録被下之
松姫君様ゟ御使者御樽肴被下之

十二月廿日

一 上野 御名代保科肥後守

但 名勤番後老中ゟ以御奉書ニ御暇被下候

十二月廿一日

一 酒井讃岐守殿名代ニハ使番 城

十二月廿二日
加増被仰付候

弐千俵　内加増
五百俵

松平丹後守

田中主殿組与頭
須田久左衛門

同　飯河新右衛門

同　池田筑後守組与頭
冨永吾兵衛

同　服部久右衛門

同　三浦助右衛門

同　高林又兵衛

同　松平丹後守組与頭
長沼友右衛門

同　久保重右衛門

同　本多九太夫

同

植村帯刀組
弐百俵　大河内喜九衛門

長右衛門子
　　　　小栗又九衛門

又市子
三百俵　小栗庄次郎

右五人者寄合より勤仕之者共之規ニ切米被下

百俵拾人扶持　大膳亮琢庵

五十俵六人扶持　今之休庵

右両人新規ニ被下之

十二月廿三日

一 酒井讃岐守同姓平次郎へ申渡候ハ、今度病ニ付養

一 出登　城之上阿部豊後守義病氣ニ付登

城中ゟ〻

右御後之右相原鮑与之

十二月廿四日

一 上野四名代保科肥後守

一 酒井雅楽頭同稲葉美濃守今日依寒入ニ付登

城中ゟ〻

一 小田切喜三郎見廻ニ登　城

一 小倉忠右衛門

一 今度鑓叙助ゟ四箇有献上今日上ル不例老中

一 近々上ヶ精出日来相返可申渡

十二月廿五日

一 諸役当旅面之人合ハ登城
但 未明ゟ之ハ罷出

十二月廿六日

一 丹羽平右衛門駿河ゟ致参

一 御破損方大工頭今日時服例年之通拝
領

一 日光御門跡 日光ゟ参着

十二月廿七日

一 幸若小八郎 病死
跡目ゟ無之而

五十石
六百石 分知

不記子

(松平越中守
同与力衆)

久助子
川口源左衛門

同 与十郎

三百石 不知

孫十郎子
小濱孫左衛門

四千五百石

五八郎子
菱谷八郎兵衛

同 三八郎

六百石 不知

新兵衛子
大井庄十郎

源之助子
渡辺権六郎

清右衛門子
三橋孫八郎

四万三千石
其[illegible]二百人[illegible]引替

清兵衛子
三枝長兵衛

源次郎子
石巻次郎八

市郎右衛門子
服部六之丞 市

源助子
小林平三郎

同次男
小林儀左衛門

市之丞子
久保三左衛門

源五兵衛子
生志源之助

同弟
同 助太夫

加右衛門子
柴山甚太郎
同
柴山右馬助
九郎兵衛子
小長谷伝十郎
佐兵衛子
呂谷与左衛門
三郎兵衛子
中村六右衛門
四郎右衛門子
佛原半松
彦八郎
木村右衛門八
三左衛門子
天野太左衛門

与三兵衛子
布下甚左衛門
吉右衛門子
神保惣十郎
庄左衛門子
猪俣金弥
松屋孫左衛門
志村十左衛門
同
理右衛門
新右衛門子
永見九兵衛
同
樫七郎

千石
五百石　分知

四千五百石
五百石　分知

小平次子
落合源右衛門

新之丞子
藤田権九衛門

久助子
戸田七之助

同　三十郎

長門子歟 権之丞甥
一色右京

河内子
同　左門

喜兵衛子
高林孫一郎

大方万作

源之丞子
堀七之助

七郎右衛門子
榊原権十郎

吉兵衛子
渡邊孫九郎

新右衛門子
中山勘太郎

彦四郎子
富永勘四郎

津之丞子
池川市十郎

喜九郎子
保田平九衛門

喜右衛門子
松倉九八郎

三十ノ子
土屋主四郎

安部三右衛門

浅（深）戸主助

八之烝子
伊勢平左衛門

外岡半之助

同右ノ子
石川源助

助之丞子
松平市右衛門

外医
伯菴子
伯元

同右ノ子
猪飼宗三郎

一 狩野宗民病身ニ付当番之儀ニ付三年之外当番之儀被免候
月番勤 願之通

十二月廿八日

一 板倉市正申渡候

任官之 御作事面々

四品

諸大夫

同 土佐守子 松平対馬守

同 主殿頭子 石川要十郎

日 安内記子 関式部

同 大膳亮子 有馬式部

同 七郎右衛門子 堀左門

同 土佐守子 大関右門

同 加賀守子 松平大助

同 甲斐守子 諏訪市正

同 能登守子 本多唐之助

同 淡路守子 本多兆左膳

同 内蔵頭子 加藤右馬助

同 市十郎弟 能勢新三郎

布衣之 御作事面々

御支配

永井源右衛門

脇坂半右衛門

小普請

溝口半左衛門

向井七郎兵衛

小十人

金田惣八郎

土屋与左衛門

大番所

黒川与左衛門

御鉄炮頭

筧勘七郎

荒井

佐橋惣左衛門

三宅惣右衛門

板橋与左衛門

天野六右衛門

三宅源太左衛門

石川惣十郎

土屋伝兵衛

糸割符之御礼

錦百把
黄金拾枚

よつ介父

あふり三懸　山口但馬守

箱肴　石河孫六

鷹の尾五十筋　柳生内膳

大屋民部

雉子十　寺田京之丞
日隠淡路

福原内記

蕪青　芦野大五

一 石川主殿頭遺物指上

伎翁国宗
松風茶壷

十二月廿九日

一 宗書写役儀　河三家乃参

城

一 明日ハ一献ニ而御祝儀ニ付御肴三献ニ而可有之旨
沙汰

十二月廿日

日本政府図書

一 平尾若狭守 日光より致忌

国立公文書館
National Archives of Japan